

二五五四番

相見あひみては 面隠おもかくさるる ものからに 継つぎて見みま
くの 欲ほしき君きみかも

二五五五番

朝戸あさとを 早はやくな開あけそ あぢさはふ 目めの乏ともしか
る君きみ 今こよひ夜き来きませり

二五五六番

玉垂たまだれの 小簾をすの垂簾たれすを 行ゆきかちに 眠いは寝なさず
とも 君きみは通かよはせ

二五五七番

たらちねの 母ははに申まをさば 君きみも我あれも 逢あふとはな
しに 年としそ経へぬべき